## HMSJ2024 Autumn Semester: Kita Tohoku ハイブリッド開催(現地・Web配信)

Conversations in Motion

Migraine Workshop



# 片頭痛に関する 医師 - 患者間コミュニケーション向上のために

Conversations in Motion Migraine Workshop は、片頭痛または他の頭痛疾患の治療における 医師 - 患者間コミュニケーションスキルを実践的に学ぶことによって、診療効率を改善し 治療アウトカム向上および医師・患者双方の治療満足度の向上をめざすワークショップです。

**日時 2024年11月17日(日)13時50分~15時10分** 

対象・・・頭痛診療に携わる医師

会場 秋田総合保健センター 秋田市千秋久保田6-6

総合司会 寺山 靖夫 先生 湘南慶育病院 脳神経内科

**工藤 雅子 先生** 岩手医科大学医学部内科学講座 脳神経内科·老年科分野

講師 五十嵐 久佳 先生 富士通クリニック 内科・頭痛外来

今回のワークショップでは、以下のモジュールのコミュニケーションテクニックを身につけることができます。

# モジュール皿. 診療効率

- ◎ テクニック1 例え/物語を利用する
- ② テクニック2 用語の定義を説明する
- デクニック3 アジェンダを設定する

グループディスカッションはディスカッサントの先生方を中心にご議論いただきますが、 ディスカッサントでない先生方にもご意見を伺う場合がございますので、その際はご発言を お願いいたします。ご発言が難しい場合は、チャット欄にコメントをご記入ください。

ハイブリッド開催のため、病院、大学、ご自宅など、どこからでもご参加可能です! 接続に関するご案内は会合の1か月前より開始いたします。





# "Conversations in Motionとは"

本プログラムは、医師-患者コミュニケーションの専門家によって作成され、国内外の脳神経内科医とプライマリ・ケア医からなるグローバルアドバイザリーボードにて片頭痛または他の頭痛疾患の患者さん向けにカスタマイズされました。

診察室での頭痛の診察効率を最大限に高め、時間を節約し、医師-患者間のコミュニケーションを強化する為に設計されています。

# 4つのコアモジュール

#### I. 共有意思決定

- 患者さんの治療に対する態度(考え方) を把握する
- 利点/欠点を比較する
- 患者さんが望んでいることを聞き出す

## カリキュラムは 全体を通しても 各モジュールのみでも 学習できます

### Ⅲ. 診療効率

- 例え/物語を使用する
- 用語の定義を説明する
- アジェンダを設定する

## Ⅱ. 共感と信頼

- 共通言語を用いて治療目標を設定する
- 治療に対するモチベーション源を聞き出す
- 共感を高める

### IV.薬物治療のアドヒアランス

- 根底にある問題を明らかにする
- 不満/判断を表に出さない
- 患者さんと協力する
- 継続的に支援し、関係性を強化する

CIMの通常のワークショップは、講師によるレクチャーのほか 頭痛専門医をファシリテーターとした グループディスカッションが設けられている参加型のプログラムとなります。

